



令和5年
第124号
1月27日発行

ゆかわ

議会だより



今年も
おいしい
お餅が
できたよ!



主な内容

表紙：ゆかわ幼稚園もちつき

- ◆ 12月定例会提出議案審議…………… P 1～3
- ◆ 一般質問（7議員が村政を問う）…… P 4～10
- ◆ 町村議会議員研修会報告等…………… P 11～12
- ◆ 議会の主な動き・編集後記…………… P 13

原油価格高騰対策燃料券配付 全世帯へ5,000円の燃料券配付 可決

12月 定例会

第556回定例会

一般質問

湯川村では原油価格高騰による灯油、ガソリン等の燃料価格の高騰が村民生活に与える影響を緩和することを目的とし、村内の販売協力者において利用できる燃料券（5,000円分）を村内の全世帯に配付する補正予算が提案され可決されました。

議案の主な内容

議案第49号

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
 ◇議会議員に支給する期末手当について、年間支給割合を0.05月分引き上げ
 現行3.20月分→改正後3.25月分

議案第50号

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
 ◇村長及び副村長、教育長に支給する期末手当について、年間支給割合を0.05月分引き上げ
 現行3.20月分→改正後3.25月分

議案第51号

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
 ◇給料月額について公民格差（△0.21% 783円）を解消するため、若年層の給料月額を引き上げ（会計年度任用職員は令和5年1月より）
 ◇期末・勤勉手当について、年間支給割合を一般職の年間支給割合を0.10月分、再任用職員0.05月分引き上げ（会計年度任用職員は令和5年4月（6月賞与）より）
 現行4.25月分→改正後4.35月分

議案第52号

令和4年度湯川村一般会計補正予算（第5号）否決（③ページ参照）

議案第53号～56号

各特別会計補正予算を撤回（③ページ参照）

議案第57号

令和4年度湯川村一般会計補正予算（第6号）

◇総務費

○財産管理費

電気料金、燃料費上昇分として5,479千円を増額、

○企画費

ふるさと応援寄附金充当事業6,079千円を増額、今年のふるさと納税額は12月末現在、寄付件数1,934件、109,174千円であります。

◇民生費

○社会福祉総務費

原油価格高騰対策燃料券配付事業5,150千円を増額（内容は上記記載）

◇農林水産業費

○農業振興費

農業振興基金元金積立金6,000千円を増額、これにより、基金残高は54,000千円となり、今後の農業振興施策に活用されます。

12月定例会が12月13日から16日までの6日間の会期で開催されました。村長から提案された条例改正をはじめ、補正予算など、8件が審議されました。また、13日・14日の2日間行われた一般質問には、7名が登壇し三澤村政について問いました。

笈川小学校
6年生



小学生が
本会議を傍聴

(笈川小)

湯川村議会を傍聴して

議長に名前を呼ばれたとき、「はい、議長」と返事をしている。なので僕はちゃんとそれを返事をしないとイケない人だと思いました。

そして、家のテレビで国会で話しているのを見て、そして、実際に役場の方を見てみると、役場も、国会の中みたいになっていて、すごくおもしろかったです。あまり話している内容は、理解できなかったけど、おてなしの心で道を、路上が弱いや聴きとれました。だから僕は、道を直すときや、何か物を作るときも、ちゃんと役場で、話して計画を立てている人だと思いました。会議を見ていたら、あまりうまく僕はしゃべれないけど、議員になってみようと思いました。

笈川名前【兼子 瑠輝】



(笈川小)

湯川村議会を傍聴して

私は、湯川村議会を傍聴してみて、議員さんたちは村民が安心して楽しく過ごせるように考えて、意見を出してくれているのだと改めて思いました。湯川村のみかを伝えるために、観光施設や特産品の情報を発信して人をよびこむという意見も村のことを考えていてすごいと思いました。浜崎に歩道をつくるという意見も私たちに、うれしいことなので、安全に歩けるように歩道を、つてもうりたいです。

限られた予算の中でも一生けん命やってくれているので、すごくうれしいです。私たちにできることはあまりないですが、できるだけがんばりたいと思います。

笈川名前【谷ヶ城 瑠】



笈川・勝常両小学校の6年生が12月議会定例会を訪れ、一般質問を傍聴しました。児童の皆さんからいただいた感想文の一部を紹介します。



勝常小学校
6年生

(勝常小)

村議会を見学して
高橋 陸人
村議会を見学して、感じたことは、議会の
方々が、湯川村を良くしようという熱心に話し合
っていたことと、議会がどんな場所なのか
も、これまで知らなかったのだから、すごく重
な経験でした。そして、議会が開きたり、た
ずねたりあります。それは、今後、湯川村にコ
ンピュータースタンドなどの商業施設ができる
かどうかわかりませんが、便利になるのだから、
いいです。

(勝常小)

村議会を見学して
小林 倫介
私は、村議会を見学してとてもおもしろいま
した。それは、湯川ファームや村の教育につ
いて、色々な問題を話し合っていて、初めてま
いに、村議会を見学するのが初めてで、と
り、村議会を見学するのが初めてで、と
の技術もまじりと思ったり、自分も議会に参
加出来るようになったら、湯川村のこれからつ
いて話し合いたいです。そして、自分も身近に感じました。

湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。

第555回 10月臨時会における議員の賛否の公表

議案番号	件名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	齋藤賢一
48	令和4年度湯川村一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

第556回 12月定例会における議員の賛否の公表

議案番号	件名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	齋藤賢一
49	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
50	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
51	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
52	令和4年度湯川村一般会計補正予算（第5号）	否決	×	×	×	×	○	×	×	×	議長
53	令和4年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	議長
54	令和4年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	議長
55	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	議長
56	令和4年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第2号）	撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	議長
57	令和4年度湯川村一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
58	令和4年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
59	令和4年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
60	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
61	令和4年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

議案第52号 令和4年度一般会計補正予算（第5号）を否決！

令和4年度一般会計補正予算（第5号）が賛成少数で否決となりました。
また、否決となった一般会計に関連する特別会計を撤回しました。

◆反対討論① 6番 高倉好博議員

湯川村体育館事務所を会津湯川ファームに貸し出すための教育費・工事請負費は、湯川村体育館設置条例の第1条に違反していると思われるため予算計上は認められません。また、体育以外の用途目的で貸し出すことは有り得ないものであり反対する。

◆反対討論③ 3番 小沢甲市議員

教育費の工事請負費は湯川村体育館事務所を他団体に貸すためのもので、会津湯川ファームの事務所使用は目的外使用と思われます。今年度から社会教育活動の充実が図られており利用者が増加すると思います。他団体に貸すための工事請負費は反対する。

◆反対討論② 2番 伊藤幸喜議員

教育費・工事請負費について、湯川村体育館は社会教育施設であり、教育委員会は村民が安心して活動できるスペースとして利用していただきたいと思っております。また、説明内容では会津湯川ファームが体育館事務所に移動するメリットが見当たりません。会津湯川ファーム事務所は村内空き家を利活用することが望ましい。次に村民の暮らしに直結する除雪費について、除雪計画は不十分で再度見直す必要があることを指摘し反対する。

◆反対討論④ 4番 片桐英子議員

湯川村体育館事務室は救護のために空けておくべきものであり、外部団体に貸し出すための改修費には反対です。また、原油高騰対策燃料券配付事業助成金で一世帯一律5,000円の給付はありますが、物価高を乗り切るための非課税世帯へは給付があり、非課税世帯に近い所得の世帯へは支援がありません。このことを質問したが検討してもらえなかった。よって反対する。

村政を問う

一般質問

12月定例会



伊藤 幸喜
議員

令和5年度の予算編成と事業計画について

問 第5次湯川村振興計画が7年経過し、過疎地域からの卒業、新型コロナウイルス感染症の発生と状況は大きく変わってきている。計画も見直しが必要と思われるが、今までの事業の成果と反省点について伺う。

答 令和3年度から「後期基本計画」「実施計画」を策定し、各施策を講じています。一昨年は「ゆがわニュータウン穂花」20棟を建設し、78名が入居され税収の確保にも繋がっています。また、各家庭に個別受信機を設置し、災害情報伝達体制を充実・強化を図りました。一方で、若者の人口流出、子育て世代の転出抑制対策が必要であります。

問 令和5年度の事業計画で本村が目指すものについて伺う。

答 令和5年度は「後期基本計画」に掲げる事業を実現していくこととし、持続発展可能となるよう未来へ向けた投資を確実に進めます。また、限られ

た財源の中、後年度の財政負担を十分留意しながら、効率的に事業を推進していきます。

問 第9期高齢者福祉計画は今後どのような進めで行くのか伺う。

答 コロナ禍で衰退しているが高齢者の生きがい作り、介護予防社会教育事業をしっかりとやっていきます。

提案

是非とも安心して長生きできる健康づくりと地域づくりお年寄りと協働、健康、共生が出来る村作りをお願いしたいと思えます。

令和5年度教育委員会基本施策について

問 GIGAスクール構想やプログラミング学習の必修によるICT教育アドバイザーが不在だが、支障はないか伺う。

答 教育委員会では、ICTの知識に明るい事務局職員や教職員がその都度アドバイスし対応しているところです。今後は、ICT機器の活用が加速すると予測され、

児童・生徒への指導は勿論、教職員への支援も一層必要になると思えます。

問 タブレット機器を学校、家庭とで使用しているが視力の低下、依存症等健康被害はないのか伺う。

答 特に報告は無いが今後養護教員を中心に指導して行きます。

問 放課後児童クラブに通う児童の学区外の下校について現状は問題なのか伺う。

答 児童が学区外に下校することに規制はありません。教育委員会としては児童の安全確保を最優先に考え、交通安全対策として先生と児童クラブ支援員による引率を行う等、対策を講じています。さらに、下校困難メールが発信された場合、バスの手配を行っております。

こども議会開催について

問 近い将来、湯川村を担うこどもたちの意見を取り入れ、自分たちの将来を描くことが、ふるさとに住みたくなる村づくりにつながると考えるが、次年度より、こども議会を取り入れる考えはないか伺う。

答 「こども議会」は、湯川村合併60周年記念事業として平成29年度に開催いたしました。教育委員会としましては、将来を担う子どもたちの様々な意見や提言を聞くことは、村政運営にも参考なるものと考えております。また、自分の生まれ育った湯川村に誇りを持ち、自立した人間を育てる有意義な活動と思えます。

児童・生徒の話聞く手段としては、色々な方法が考えられますが、「こども議会」開催も含めて調査・研究します。



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

廣川 文夫
議員



(株)会津湯川ファームの現状と今後について

問 米価下落に伴い、(株)会津湯川ファームの所得が減少し、厳しい経営が続いているが、経営支援をどう考えているのか伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、米需給不均衡が生じ、米価下落が進み、経営は厳しい状況は続いています。

第一期計画における米価の売上高の積算指針は12万円でありましたが、令和3年度で8万4千7百円、令和4年度で8万8千7百円、計画を大きく下回りました。次期5年間の第2期事業計画を策定しておりますが、地域農業のセーフティネットの役割を十分担えるように考えています。

問 今後5年間の計画案では赤字が続く計画となっており、出資金から補填する計画となっているが、経営をどう考えているのか伺う。

答 黒字となる計画としたいが、米価が上昇しないと難しい現状であり、課題としています。

問 黒字となるように育苗を実施する計画はないのか、黒字化する考えはないのか伺う。

答 育苗は実施すべきであろうと思います。また、会津湯川ファームも検討していると思います。



会津湯川ファーム事務所

小学校の教育環境について

【教育長答弁】

問 「小学校のあり方」を設置したが、どの様な意見が出され、どの様な話し合いがなされたのか伺う。

第1回目の委員会では12名が出席され、委嘱状の交付、目的の説明し、今後の開催日程と進め方について協議しました。

答 第2回目の委員会では、①教育制度②児童クラブ③小学校統合とテーマを3つとし、説明を行っています。また、第3回目は2月下旬開催とし、意見や要望を集約する予定です。

本会は、委員、所属団体の意見を述べていただき、多くの関係者からの意見や要望を集約したいと思っております。

問 地域学校協働本部の設置の現状について伺う。

答 現在は、要綱等の整備や推進員の人選等について進めています。推進員には、学校支援のニーズ把握や地域住民と学校を結びコーディネート的な役割を担っていただく

で、学校事情や地域事情に詳しい方を考えています。本部は教育長を本部長とし、社会教育委員をメンバーとした構成を検討しています。事業実施については、村内の教職員や教育委員会職員への説明し、コミュニケーションと地域学校協働本部事業について理解促進を図り、組織体制の整備を進めています。

問 推進員はいつ決定するのか伺う。

答 今、人選を進めており、年度内には体制を整えたいと思っております。



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会



小沢 甲市 議員

下樽川集落西側の民間建設業者による住宅団地建設について

問 住宅団地は第一期工事9軒の住宅建設が予定されている。第二期工事においても同数くらいの住宅建設が予定されているようだが、集落名は決定しているのか伺う。

答 新しい行政区を設置する考えですが、住宅を建設中であり行政区名は決定しておりません。

問 集落公民館建設とごみ収集場所、消火栓設備等設置の考えを伺う。

答 公民館建設は地区の住民の方々が将来必要となった場合に考えていただくこととなります。建設の際は、村助成事業を活用されるようご案内します。

ごみ収集場所は村または行政区で所有する土地を設け設置する予定です。消火栓設備は、消防法に基づき消水利の基準により穂花南側の消化栓で基準

を包含されているため、新たな設置は考えていません。



(株)会津湯川ファーム来年度からの事業計画について

問 会津湯川ファームが設立され5ヶ年計画の最終年度であるが、反省点と来年度からの計画について伺う。

答 コロナ禍の影響等による米価下落、ロシアのウクライナ侵攻による原油や農業資材等の高騰など予期せぬ事態が重なり、5年間の総合収支は黒字化が困難な状況であります。次期5年間の事業計画は「育苗」乾燥・調整」の実施を検討され、健全運営の

早期実現を図れるよう支援を行ってまいります。

農業振興基金の使途について

問 農業振興基金の積立金は、湯川村の農業を守る趣旨でふるさと納税分から積み立てされていると思うが、昨年度からの米価下落と肥料・農業・農業資材等の高騰による農家支援への活用の考えを伺う。

答 米価下落や肥料価格の高騰の対策として8月に「湯川村生産意欲向上対策支援事業」12月に「農家支援助成事業」を実施しております。その他湯川村米を広くPR「お米券助成事業」を実施し、農業振興基金を活用しております。

雪計画を伺う。

答 昨年までトラクター等による「集落協力除雪事業」を実施しておりましたが、事故、高齢化など作業員確保が困難な状況となり、今年度からは、3台の小型除雪車で13集落の狭あい道路を民間業者に除雪作業を委託し、冬季間の地域住民の安全な道路通行を確保する計画であります。

大型除雪車が入らない狭い集落道路の除雪作業について

問 集落の狭い道路の除雪は、各集落でトラクター等による除雪を実施していたが、今年度の除



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

高倉 好博
議員



社会的弱者に優しい
村づくりについて

問

移動手段を持たない高齢者の通院・買い物への支援や社会活動への参加促進を目的として「高齢者タクシー及び路線バス利用助成事業」を行っているが、障がい者の経済的負担軽減と福祉増進を図ることもひとつではないかと思う。

答

障がいを持たれる方の交通手段の確保は高齢者と同様に大変重要な課題であると認識しており、次年度に向けて、福祉タクシー助成事業の検討をして参りたいと考えております。

選挙公約の実施状況
について

問

「幼・小・中一貫教育を目指す」ということで小学校統合の検討を促進すると公約しているが、どのような取り組みを

答

①「ゆがわっ子育てプラン」
保幼小中の15年間をつなぐ一貫した教育体系を確立するため、教職員の情報交換や交流、連携教育の強化に取り組んでいます。
②「小学校のあり方について意見を聞く会」
小学校統合だけでなく教育の課題や将来の方向性、教育ビジョンを関係者から意見や要望を聞き取ったため、意見を聞く会を設けました。

問

「商工業誘致・振興を図る」ということで会津縦貫北道路や県道会津坂下・河東線沿いへの商工業誘致はどのような活動をしてきたか伺う。

答

会津縦貫北道路インターチェンジ付近や道の駅あいづ等の交通便利性が高い土地について有効利用が図れるよう努めています。
現在、県道会津坂下・河

行い、その進み具合を伺う。

湯川村ごみ減量について

問

4月に湯川村ごみ減量実施計画を作成し事業を実施されたが、現状と課題を伺う。

答

令和7年度までに家庭系の燃やせるごみの量を2割削減する目標を3つ掲げました。
①生ごみの減量化
②3R推進活動
③紙類の分別
今年度は資源物の分別促進として「使用済みインクカートリッジ」の回収、9月には「環境教育学習」を笈川・勝常小学校の4年生を実施しました。

東線沿いには4事業者が出店し、支援を行っております。今後も自然環境の保全、隣接地域との調和を配慮し、村民の生活利便性の向上を考慮しながら計画的な誘導を図ってまいります。

目標達成には家庭系の「燃やせるごみ」の更なる

家庭系ごみの排出抑制及び資源化に関する目標値

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
燃やせるごみ(t)	541	528	517
燃やせるごみの1人1日あたりの排出量(g)	484	477	472
資源化量(t)	164	165	161
リサイクル率(%)	17.4	17.9	17.8
予測人口(人)	3063	3032	3002

減量とリサイクル率の向上が重要であり、資源化を村民の皆様実践していきたいと考えています。



上記QRから動画でご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会



片桐 英子
議員

新規就農者支援事業補助金の在り方について

問 現在親元就農者に
は、月5万円を3年
間補助しているが、経営の
厳しい農業を引き継ぐため
には経営内容の検討と発展
が必要であり、そのための
研修、資格取得等には新規
就農者と同程度の支援が必
要と思うが見解を伺う。

答 新規就農者は機械
や施設がところから
始めておりますが、親元就
農者は機械や施設等がある
と想定され、条件等を勘案
し補助額を設定しておりま
す。また、国や県の研修会
の開催や費用の補助制度を
紹介するなど就農者へ支援
を行ってまいります。

学校図書館司書未配置の理由について

問 司書設置が努力義
務となり6年余り経
過し、県内の小中学校とも
82%を超えています。また、
本村の学力検査結果でも国
語能力の向上が求められて

いることから、急いで配置
すべきではないか、配置で
きない理由を伺う。

答 各学校で図書業務
を担当する先生が選
任され、図書室の管理運営、
購入図書を選択、図書委員
活動の指導等を行っていま
す。また、図書ボランティア
の皆さんには、定期的な
読み聞かせや書架の整理、
読書環境づくり等協力を頂
いているところで、専
門的な知識を有する人の配
置を講じる必要性があると
考え、学校図書とユー
スピアゆがわの図書機能を
含めた一体的な管理運営の



ユースピアの図書

構築をできないか調査研究
を進めてまいります。

ごみ減量について

問 ごみ減量実施計画
では燃やせるごみの
半数は紙・布類である。着
用可能な衣服の回収だけで
なく、着用に耐えられない
不適切な衣服を月1回くら
いの定期回収はできないか
を伺う。

答 燃やせるごみの約
53%が紙や布類に分
類されており、「雑がみ」の
分別促進のため、庁舎内で
取り組みをはじめており、
村職員を対象に「ごみ分別
の講習会」を開催し、住民
へは「雑がみ」の分類早見
表を掲示したところです。
衣類の回収は4月、11月
に回収イベントを実施して
おりますが、当日来られな
い方の対応として、庁舎で
回収できる機会を設けられ
るよう検討してまいります。
また、収集日や収集運搬回
数の変更は調査研究してま
いります。



回収ボックス



衣類等回収



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

小野 澄雄
議員



本村の課題と次年度に向けての予算編成について
①高齢化社会に向けての政策交通手段の確保は！

問 今後ますます進む高齢化の中にあつて年齢にこだわらず学習や社会参加等に向けた環境整備が必要で、交通手段の確保は、日々の生活を支える基盤の一部と考えます。村としての対策について伺う。

答 村独自の交通体系の充実に取り組み高齢者のニーズを十分認識し、外出支援策を村独自の交通体系の充実に向けて新たな取組みを調査研究していかねければならないと考えています。

空き家問題対策！

問 空き家が増えることにより地域の活力、魅力が低下します。さらに崩壊の危険性、防犯や動物被害など衛生面からも住環境の整備が必要です。対策について伺う。

答 対策事業として、空家改修・解体事業補助がそれぞれあります。また、「湯川村空家・空地バンク」を設置し、村外から

らの移住・定住促進に取り組んでいます。移住・定住促進には空家バンクの登録数の増加が必要であり、今後アンケート調査や広報掲載等により制度の周知を行いたいと考えております。

【提案】

所有者の適正な管理や利活用を促す為にも、解体費用補助金の増額、住宅用地の特例の延長、公共施設等の活用等、総合的な取組みが必要でないか。



空家の写真

②湯水期の補助用水と非灌漑期での生活用水確保は！

問 令和2年度に湯水の対策事業が完了しましたが、しかし、その対策事業が生かされておられません。恒久的な対策が必要でないか。伺う。

答 会津南部地区パイプラインの維持管理工事のため断水しております。断水に係る代替対策として、旧湯川から、更には旧水源地からの送水を行い、冬期間の生活用水を確保しております。湯水による被害が予想される場合は、送水管を活用し、補助用水として利用出来るよう、又農作物被害が生じないように用水確保を行ってまいります。

③(株)会津湯川ファームの事務並びに自立に向けての対策！

問 農業を取り巻く状況にあります。湯川ファームも、設立から5年が経過しますが、事務所や経営の面においては、順調とは言えないように見受けられます。どの様な対策、指導を講ずるのか伺う。

答 事務所は、極力費用をかけないで整備する必要があります。現在、湯川村体育館の事務所を借用する方向で調整しております。

自立に向けての取り組みは、育苗費と乾燥・調整料が大きな支出割合であり、現在、村内農業生産組合と協議を進めており、協業体

制が構築できれば経費削減ができると思います。

【意見】

体育館の一部を湯川ファームの事務所としての貸出は、体育館設置目的からも、又社会教育の充実を図る上でも、馴染まないと考えます。慎重に検討すべきである。

④老朽化が進む公共施設の整備検討と進捗は！

問 今年度より新たに社会教育課長並びに公民館長が配置され、新しい社会教育の創造と振興を図ると共に、老朽化する公施設との在り方を検討する使命を担っております。そこで、検討内容の進捗状況を伺う。

【教育長答弁】

答 若手職員を中心に作業部会を設けて主に公民館、保健センター、高齢者コミュニティセンターの建て替えと整理統合の検討作業を行っています。



上記QRから動画をご覧いただけます。

村政を問う

一般質問

12月定例会



篠竹 正弘
議員

第556回定例会

一般質問

村づくりについて

問 勝常寺からの参道エリアの地域・村活性化に村が今後どのようにかわりを持つのか伺う。

答 勝常区活性化対策委員会では、「角屋」や黒塀の門前通りを中心に人を呼び込み、賑わいが持たれる場となるよう動き題しています。

今後「むらなかにぎわい創出勉強会」を開催し、地域活性化、交流拠点施設「角屋」の在り方や情報発信、「たから館」の観光施設での村づくりなど取り組んでまいりたいと考えています。



門前通り

問 風情のある黒塀周辺の電線埋設を考えたもよりのと思うが、考え伺う。

答 東北電力の電線埋設事業の紹介がありました。多額の費用が必要であり、また、地域住民のご理解、協力も必要となり、事業実施には課題があると考えています。

事業者支援について

問 原油価格の高騰の影響を受ける村内事業者を支援する「原油価格高騰対策支援金」を交付すべきではないか伺う。

答 「湯川村消費応援商品券」「湯川村マインナー普及促進・消費応援商品券」事業を行って支援しておりますが、厳しい経済状況が続いておりますので引き続き状況を注視してまいりたいと考えています。

道路交通網の整備について

問 村内を安全に通過、快適にきてもらうために、県道33号線会津坂下・河東線の村内エリアで残りの舗装改修工事の時期について伺う。

答 令和3年度に亀ヶ代・熊川・笠ノ目熊ノ屋地区、令和4年度には区画線設置工事を実施され、来年度以降、順次舗装補修工事を実施する計画であります。

問 県道浜崎・高野・会津若松線の浜崎地区バイパス工事の進捗状況について伺う。

答 今年度は7月に東北運輸局に県道バイパス整備に係る事業計画概要とJRとの協議経緯の説明を行い、踏切道の拡幅に係る指針の確認・協議を行っております。10月にはJRと県道バイパス整備に係る踏切道の拡幅及び統廃合について再協議を行いました。

現在は、県と連携し、事業推進に協力し、浜崎区の皆様に経過報告と具体的方向性の説明が行えるよう県と協議を進めております。



置賜街道踏切



殿松踏切



上記QRから動画でご覧いただけます。

国會議員への要望書提出及び移住定住意見交換会の実施について

副議長 篠竹正弘

令和4年10月18日(火)に福島県選出の国會議員13名に要望書を提出しました。

要望内容は一つ目「持続可能な農業の振興について」国内産農産物の生産・消費拡大に積極的に取り組むこと、東日本大震災からの風評被害対策、農地の水田活用直接支払交付金見直しを要望するものです。

私達議員は、各議員の事務所に訪問し直接要望書を手渡しさせていただきました。中でも菅家一郎議員事務所では、長時間に及ぶ意見交換と本村議会として要望活動ができました。



菅家一郎議員へ要望書を提出



森まさこ議員へ要望書を提出



玄葉光一郎議員へ要望書を提出

小林昭一福島県議会へ要望書を提出

副議長 篠竹正弘

令和4年11月28日(火)国会議員に続き河沼郡選出の小林昭一議員に要望書を提出しました。

要望内容は一つ目「持続可能な農業の振興について」国内産農産物の生産・消費拡大に積極的に取り組むこと、東日本大震災からの風評被害対策、農地の水田活用直接支払交付金見直しを要望するものです。

二つ目は「一般道浜崎高野会津若松線の整備促進について」本路線の全線整備完了による道路交通の安



星北斗議員へ要望書を提出

全確保と産業経済の振興を図るとともに、地域住民生活の安全と利便性の良い生活環境を維持確保するため、浜崎集落バイパス工事の早期着工について強く要望いたしました。

三つ目は「一級河川(旧湯川・せせなぎ川)の整備促進について」河床部堆積物の除去、狭窄部対策、さらには堤防に繁茂する樹木を伐採し、適正な維持管理に努めるよう要望いたしました。

今後も継続して今後も要望してまいります。



小林昭一議員へ要望書を提出

老人クラブ連合会との意見交換会

広報広聴委員長

篠竹正弘

令和4年12月1日(木)議会では、昨年度に続き村老人クラブ連合会からのご依頼により「高齢者の生きがいづくり」として、交通手段の確保、交流の場等についてをテーマに意見交換をいたしました。

二つのテーマからさまざま貴重なご意見やご提言、村に対する思いをいただき有意義な意見交換ができました。



老人クラブ連合会との意見交換の様子

福島県町村議会議員
研修会について

副議長 篠竹正弘

10月24日(月)午後1時より郡山市の「ビッグパレットふくしま」において県町村議会議員研修会に参加しました。

今回の研修は、「町村議会のあり方と今後の議会改革―ウィズコロナを意識して」と題して東北大学大学院情報科学研究科の河村和徳准教授、「日本政治の行方―ズバリ解説!政局の焦点」と題して政治ジャーナリストの細川隆三氏が講話されました。

河村氏は、内なる改革として、議会による個別的・具体的な実践で議会活動の見える化、外からの改革として、制度改正・法令改正に対する言及と見直しが必要であることを伝えられました。

細川氏の父は政治評論家の細川隆一郎氏、大叔父は政治評論家の細川隆元氏で、講話では政治意識や地方政治の動きなどについて冗談

を交えながら鋭い視点で政局の焦点を説明されました。二氏ともわかりやすい講演で、今後の議会活動に十分に生かすことができる内容でありました。



研修会の様子

県外行政調査について

総務文教常任委員会

委員長 三澤 榮 三

10月31日(火)から11月2日(木)に秋田県大仙市、大潟村にて行政調査を行いました。大仙市では、145回開催という歴史ある「秋田県種苗交換会」を研修しました。「先人に学び農業の未来をひらく」と題された種苗交

換会は秋田県の先進的な農業への取り組みが見られ、本村湯川米のブランド化や付加価値を付けたPR方法を研修できました。大潟村では、学校教育に關し、ICT活用状況について教育委員会から説明を受け、意見交換を行いました。

大潟村は本村と人口や世帯数は同じくらいですが、面積は約10倍であり、その多くは水田であり、戦後日本の食糧生産基地として、八郎潟を干拓された村であります。農家は大規模な農業経営をされており、農業支援同様に学校教育にも熱心で、小中学校は校舎が一体型で、教職員は相互に乗り入れ授業を実施をされているとのことでした。

ICTの活用状況ですが、一人一台の端末とICT教育アドバイザーを配置し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指しておられました。



秋田県大潟村の行政調査の様子



秋田県大仙市の行政調査の様子

所管事務調査について

総務文教常任委員会

委員長 三澤 榮 三

11月22日(火)にゆがわ幼稚園長と湯川村保育所長と「経営及び運営の現状と問題点等について」をテーマに意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策でおやつを持参しているが、保護者や子どもたちはどうか、「ヒヤリハット」はあるか、「コドモン」の利用はどうか等の質問に園長、所長は丁寧に説明され、現在の状況問題等を把握できました。



幼稚園長、保育所長との意見交換の様子

湯川村議会の主な動き

- 10月25日 第555回湯川村議会臨時会
- 30日 会津坂下町消防団・湯川村消防団令和4年度秋季連合検閲
- 31日 湯川村議会行政調査（秋田県大仙市・大瀧村）
- ～11月
- 2日
- 4日 令和4年度国道121号改良促進期成同盟会総会及び中央要望増子輝彦さんを囲む「御礼の会」
- 6日 令和4年度湯川村教育委員会表彰式並びに第8回湯川村ここがふるさと小中学生作文コンクール「少年の主張発表会」及び作文コンクール表彰式
渡部恒三先生お別れの会
- 8日 第33回両沼地方町村議会大会決議事項の国に対する要望
- 8日 定期監査
- ～10日
- 9日 第66回町村議会議長全国大会・研修会
- 10日 第16回市町村対抗福島県軟式野球大会及び第9回市町村対抗福島県ソフトボール大会村旗返還式
- 11日 議会全員協議会
第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会湯川村選手壮行会
- 15日 全国過疎地域連盟第54回総会
- 21日 例月出納検査
- 22日 総務文教常任委員会所管事務調査(ゆがわ幼稚園、湯川村保育所)
- 28日 福島県議会議員 小林昭一議員への要望書提出
- 12月
- 1日 湯川村老人クラブ連合会との意見交換会
- 4日 会津未来創造推進本部講演会
- 6日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 8日 自治功勞表彰式 **写真**
- 10日 ゆがわウインターイルミネーション点灯式 **写真**
- 11日 湯川村婦人消防クラブ総会
- 13日 第556回議会定例会
- ～16日
- 19日 令和4年度12月会津若松地方広域市町村圏整備組合議会臨時会
- 22日 例月出納検査
- 令和5年
- 1月
- 6日 令和5年湯川村新春のつどい **写真**
- 8日 無火災祈願
- 11日 交通安全祈願祭
- 13日 議会全員協議会



自治功勞表彰式



ゆがわウインターイルミネーション点灯式



令和5年湯川村新春のつどい

議会中継 録画配信のご案内

湯川村議会では、年4回（6・9・12・3月）の定例会で行われた一般質問の録画中継を公開しています。

一般質問は、行政に対し疑問点をただし、所信の表明を求め、政治姿勢や政策の目的・効果を明らかにさせるなど、議員の花形ともいえる議会活動の一つです。

スマホやパソコンで見ることが出来ますので、この機会にぜひご覧ください。



編集後記

あけましておめでとうございませう。

昨年の寅年から今年卯年となり、飛躍の年であってほしいと思います。

さて、未だコロナ禍でありませんが、昨年のサッカーワールドカップでの日本チームの活躍、ベスト8は逃したものの強豪に勝利したことは歴史的偉業を成し遂げました。

選手たちが懸命に戦う姿に涙があふれ、最後まで諦めず戦うことの大切さ、夢は努力なしに達成できないことを教えられました。

新型コロナウイルス感染症の先はまだまだ見えておりませんが、令和5年も村民の皆さんが元気な笑顔で過ごされるよう願うものです。

(三澤榮三)

議会広報広聴委員会

- 廣伊小 三 篠
- 川藤沢 委 澤 副 竹 委員
- 文幸甲 員 榮 員 長
- 夫喜市 三 弘